

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 資金の範囲について: 資金の範囲は 預金、有価証券、前払金、預け金、未払金である。
 なお、当期末残高は 2. に記載の通りである。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
 ・満期保有目的の債券・・・個別法による償却原価法(定額法)による。
 ・その他の有価証券・・・決算日の市場価格等に基づく時価法による。
- (3) 消費税等の会計処理
 ・消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高	増減額
普通預金	61,437,215	59,827,365	-1,609,850
定期預金	0	0	0
前 払 金	0	0	0
合 計	61,437,215	59,827,365	-1,609,850
未 払 金	23,381,340	18,983,232	-4,398,108
次期繰越収支差額	38,055,875	40,844,133	2,788,258

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

・基本財産及びその他の財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	0	0	0	0
投資有価証券	4,035,558,251	10,000	8,291,524	4,027,276,727
受贈株式	10,580,000,000	0	2,970,000,000	7,610,000,000
小 計	14,615,558,251	10,000	2,978,291,524	11,637,276,727
特定資産				
公益目的事業 積立資産				
定期預金	310,000,000	0	65,000,000	245,000,000
投資有価証券	1,805,256,120	0	5,963,280	1,799,292,840
小 計	2,115,256,120	0	70,963,280	2,044,292,840
合 計	16,730,814,371	10,000	3,049,254,804	13,681,569,567

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

・基本財産及びその他の財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	0	(0)	(0)	(0)
投資有価証券	4,027,276,727	(4,027,276,727)	(0)	(0)
受贈株式	7,610,000,000	(7,610,000,000)	(0)	(0)
小 計	11,637,276,727	(11,637,276,727)	(0)	(0)
特定資産				
公益目的事業 積立資産				
定期預金	245,000,000	(245,000,000)	(0)	0
投資有価証券	1,799,292,840	(1,799,292,840)	(0)	0
小 計	2,044,292,840	(2,044,292,840)	(0)	(0)
合 計	13,681,569,567	(13,681,569,567)	(0)	(0)